

# THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を  
Engage Rotary Change Lives



個々の価値観を尊重し

自らロータリーを楽しもう

国際ロータリー会長 ロンD. バートン

2013~2014

富津中央RC会長 須藤 隆

国際ロータリー 第 2790 地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12  
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

## No.2337 第36回例会 2014. 4. 3 雨

点 鐘：須藤 隆 会長

進 行：石渡 鋼 副SAA

ソング：君が代 奉仕の理想

### 会長挨拶

須藤 隆 会長



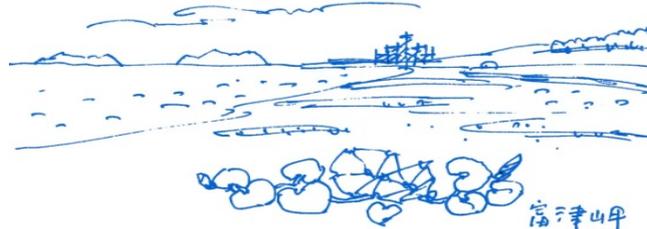
皆さんこんにちは。この近辺の桜がちょうど見ごろとなりました。お花見に行かれた方これから行こうとされている方もいると思います。私は、一昨日佐久間ダムと小湊の内浦山県民の森に家内とドライブがてらお花見に出かけました。佐久間ダムは桜の名所で、土日は人込みで賑わうところですが、ウィークディで朝早いこともあって人影もまばらで、マイペースで湖畔を歩きながら一面の桜景色を楽しみました。佐久間ダムからさらに小湊まで車でほぼ一時間、内浦山県民の森の往復 3 キロほどの山道のハイキングコースを歩き、道々随所に咲き誇る桜に足をとめながら勝浦ダムまでの往復コースを歩き

ました。日本の桜の季節は素晴らしいと感じた一日でした。恐らく週末までが桜の見ごろでしょう。

先週石渡さん、若鍋さん、原田さんが嘉義南扶輪社を訪問され、大変なお持て成しと歓迎を受け、素晴らしい台湾訪問であったと伺いました。陳さんから石渡さん宛てに届いた英文のメールを拝見させていただき、今回の訪問が台湾との交流を一層深めた印象を受けました。後程3人からの報告を楽しみにしたいと思います。

さて、今月はロータリー雑誌月間です。毎月配布される「ロータリーの友」の各地域の活動状況や、卓話の泉等を興味深く読んでおります。以前千葉会員が「ロータリーの友」で読んだことを会員卓話で話そうとおっしゃっていたことがありました。それくらい「ロータリーの友」には有益な情報があり、会員相互に雑誌の内容を確認し合うだけでわたしたちロータリアンとしての十分な勉強にもなると思います。それと当クラブの週報についてですが、毎週発行される週報は編集担当者が読みやすいように写真や文章のレイアウトを考え、なんとかページの中にすっきり納まるよう苦心しております。週報はロータリー活動の集大成でもあり、私たち会員一人一人の作品でもあります。今月の雑誌月間にあたって、あらためてロータリーの友と週報への思いを新たにしたいと思います。

〒293-0042 富津市小久保2868  
さざ波館 Sazanami-kan  
2868 Kokubo Futtsu-shi Chiba-ken,  
Zip code 293-0042  
Tel.0439-65-3373 Fax.0439-65-3304  
URL <http://www.futtsuchuo-rotary.org>



## 幹事報告

山田 昌雄 幹事



訪台団ご苦労様でした。お土産ありがとうございました。

3月31日から4月1日、出雲大社へお参りに行ってきました。発案は今年中学に入学する孫娘です。この娘っ子が古い歴史、建築物、言い伝えに興味を示します。教育界に対する批判が多くあるなか、こんな子供を育ててくれる教師が未だ数少ないながらいることに心の安堵を思えます。大国主命に会員の健康長寿と縁の結びをお祈りしてきました。また、今回の圧巻のもう一つは、足立美術館でした。足立全康という人の作った美術館ですが、5万坪の敷地に枯山水の庭(日本一の名庭園11年連続)横山大観、北大路魯山人、河合寅次郎らの名品が収蔵されています。そして、松平不昧公の松江城では、孫娘に手を引かれ天守閣に登ってつくづく年を感じた二日でした。

## 結婚祝・誕生祝



渡辺 務 S36.4.25 生



原田 雅式・和子 S48.4.8



小野 恒靖・玲子 S41.4.17

## 委員会報告

### 寄稿願

志波 克 会報・広報委員長

以前からお願いしておりました会報へのご寄稿の件ですが、今年度も残り少なくなりましたので、全会員に宜しくお願い申し上げます。

題材:自由(仕事、趣味、孫、ロータリー情報、学術、…等々のお話し。絵画、写真等も結構です。)

容量:目安として、文は400~800字位、絵画、写真はA3以下。

提出期限:4月24日(木)

### 「会長エレクト研修セミナー」報告

若鍋 武良 会長エレクト

2014-2015年度会長エレクトセミナー(PETS)が、3月29日(土)に千葉市で開催されました。宇佐美透ガバナーエレクト(千葉幕張RC)より、次年度RIと地区のテーマの発表がありました。まず、次年度RI会長台湾・台北RCのゲイリーC.K.ホアン氏は、2014-2015年度ロータリーのテーマを、「ロータリーに輝きを Light Up Rotary」と、発表しました。ホアン氏は「2400 年程前、中国の思想家である孔

子は『ただ座って暗闇を呪うより、1本のろうそくを灯したほうが良い』と説かれました。ロータリーの考えは“孔子”と同じです。「超我の奉仕」の理念により、世界を光で輝かせるろうそくを灯するのがロータリアンです。」と述べています。

次に次年度地区テーマは、「ロータリーの復活と原点回帰」です。RI資料では、1998年がターニングポイントとなり以降、年々会員数が減り出しているが、当地区では、一昨年より回復傾向にあるようです。世界的には、東南アジア諸国、特にインド、台湾、韓国などは大幅に上向き傾向のようです。質と量の問題もありますが、原点を見つめながら、変わりながら継続していく大切さから、上記の目標を設定したようです。

2014-15年度地区主要会議の日程および会場

- 1) 地区研修・協議会 4月29日(火・祝日)  
アパホテル&東京ベイ幕張ホール
- 2) 地区大会記念ゴルフ 10月6日(月)  
キングフィールドズGC
- 3) 地区大会 2015年2月21日(土)~22日(日)  
アパホテル&東京ベイ幕張ホール
- 4) 国際大会 ブラジル サンパウロ市

## 誕生祝一言

渡辺 務 会員



誕生祝いをいただきありがとうございます。

4月25日で53才になります。今月初めに、九州の博多ラーメンのセットが送られてきました。家族でござそうになりたいと思います。

53才も健康に注意しながら様々なことにチャレンジしたいと思います。

## 結婚祝一言

原田 雅式 会員

皆さんこんにちは、4月初めにお祝いを頂きました。永平寺の朝粥セットでした。ありがとうございます。早いもので、今年で40年になります。

最近金属疲労を起こして、家内は犬の散歩で引きずられ肩の腱だか、筋を伸ばして加藤クリニックでリハビリ中です。

私は3月から禁煙外来(茂田医院)に通っています。50年吸っていたのでもう間に合いませんが。禁煙に挑戦です。これから身体のメンテをして頑張っていきたいと思います。

## 訪台報告

石渡 鋼 会員



まずは親善という目的を果たし、無事戻ってまいりましたことを報告いたします。またこの訪問に際して、皆さんより頂いた物心両面の渡る御支援により、スムーズな旅ができたことに感謝申し上げます。

今回の姉妹社訪問は当初は止めの方向で決まっていたところでしたが、前年度「扶輪桜花林計画」参加を契機として、クラブ同士の親交から個々の交流へとシフトが変わったようにも思え、この流れを止めたくない気もあり、先方より再々のお誘いに甘んじて実行した次第であります。

今回の旅程は2泊3日という短い日であり、短い時間のなかで台湾の一般の人とのふれあい、発展する台湾のリゾート拝見と、シティホテルではなく温泉に泊まると決めて計画しました。

あのマレーシア航空と共同運航という JAL 機は桃園空港へ午後2時半、ここからは数年前と同じく、高速バスにて1時間半で台中へ向かう。同席の若いカップルとのやり取りでバスも新幹線同様敬老割引ありと知る。証明書無しで切符を買ってくれた A

氏曰く「年にみられたか」と。

一泊目の宿台中「清新度假温泉ホテル」はバス停より TAXI にて15程度にて小高い丘の上にあった。明るいうちは景色がどうのという場所ではなかったのだが、夜になって驚いた。台中の街の灯りがテラスに、大きな浴槽の足元にまばゆいばかりに輝いているのだ。

翌26日は TAXI にて旧台中駅へ、統治時代に建てられたらしいクラシカルな駅舎にて 特急自強号に乗る。嘉義駅が近くなるにつれ田園の稲は我地の7月下旬、出穂真近い。一年振りの華南平野は晴天にて暑く、旧嘉義駅に着くと陳仁徳さんと黄さんと仰る比較的新しい会員がファミリーで迎えてくれた。大荷物を何とかトランクに積み込んだ我々を、あの昔なつかしい駅前を少し走ったところのレストランへ案内してくれた。そこには張英士会長そして sabinahang 夫人始め若い会員等が待っていて昼食を戴く。フェイスブックや桜花林の話で直ぐ盛り上がり台湾ビールで乾杯だ随意だと早速の攻勢。やがて愚生が所望していた映画「KANO」へ案内されたのは、先の黄さん夫妻と岡崎市へ留学していたという通訳係のお嬢さん、そしてボストン大学卒業という御長男達御一家。歩いても行けそうな近くにあった映画館へ、NHK ニュースで知ったヒット作ということで希望したところ入場するも他に誰もいない。一瞬ヒットは嘘かと不安がかすめるも杞憂に終わり、間もなく満席状態になった平日というのに。それも若い客層で埋まっている。先のビールが利いての「洗手間」へ行くにも一苦勞の体。ストーリーは統治時代初期の高校野球、嘉義農林高校が甲子園で準優勝するまでの劇画タッチで描かれた青春「スポ根」映画。出演者は日本人役を含め台湾人と思われる人々で、ほとんどが日本語、テロップに漢語がながれるのが奇異だ。上映時間3時間40分、これが予想に反し飽きさせないのである。鬼と言われた松山商業出身という近藤監督の日本的根性、礼儀、平等性がこの国の若者に受け入れられたと思ひ嬉しくなった。あと少しで見終わるところだったが、式典時間も迫り、会場且つ投宿の耐斯王子飯店(ナイス・プリンスホテル)に急いで頂く。

築3年という真新しい高層、250室余の日本のプリンスホテルを冠した嘉義一のホテルは、裏側には

「松屋」デパートと一体を成していた。玄関には劉さん、韓さん、羅さん、若い李さん夫妻等々が出迎えてくれ。元気な林基全さんの御顔を見てお会い出来てよかったと思った。一年振りの再会にお互いありったけの笑顔、知っているだけの挨拶言葉の嵐だ。おみやげの交換を終え、5F 受付を通り宴会場へ案内される。ステージ中央に掲げられた「35」の立体金文字、余興の民族打楽器一団の演奏で迎えられ、日本北条RCと思しき方々と並び着席、張英士会長の点鐘、台・日両国国歌の斉唱で始まり、3740 地区ガバナーを筆頭に来賓挨拶、もちろん我須藤会長のビデオメッセージも2か所の大画面より400名という登録者の目前で披露された。式典進行は若手会員を中心に進められ、いつもの事ながらその年度の会長夫妻を最高に盛り上げ、支える姿勢に感心させられる。

こちらの宴は乾杯の音頭で始まり中締めが発声で終わるということは無く、自由散会にてお礼の挨拶を交わし13Fの部屋にたどり着いたのは11時ころだったでしょうか。

27日朝、長会長、陳仁徳 PG、李龍駒さん達と朝食を共にした後、高鉄嘉義駅へ送って頂きました。このあと彼らは記念行事の最後でもあるゴルフが兄弟社花蓮吉安社と一緒にあるとのこと、我々にも是非としきりに言ってくれました。

さようなら、再見としか言えずとも、ロータリーという縁を戴いた信義に厚い異国の友との別れのときこそ、旅情と云わずしてなんと云おうか。やはり人というものは顔を合わせる度に絆が深まり、互いに礼を尽くすことで、友情が熟成して行くのではとないかと感じた姉妹クラブ訪問の旅でありました。

みなさんありがとう。

原田 雅式 会員



皆様に壮行会、又クラブからのお祝いを頂き大変助かりました。今回は3人でしたので行きも、帰りもお土産に悩まされ大変でした。やはり6人～8人位必要かと思いました。又嘉義南区扶輪社の皆様には大歓迎をされまして、お世話になりました。特に嘉義で見た映画「kano」嘉義農林高等学校、野球部のお話です。台湾で映画を見るとは思いませんでしたが、これが面白く感動しました。

若鍋 武良 会員



台湾の姉妹RCである嘉義南RCの「創立35周年式典」に、石渡、原田両会員と共に出席してまいりました。2泊3日の日程でしたが、予定通り無事に旅行を終えてほっとしております。1日目(25日)は、台北桃園空港で国光客運バスに乗りし、高速道路で台中へ、それからタクシーで宿泊ホテルである「清新ホテル」まで行きました。ホテルは台中市内を見下ろす高台にあり、5つ星の豪華なリゾート温泉ホテルでした。

2日目(26日)、台中のホテルを9時前にチェックアウトし、台中駅より在来線の特急「自強号」で目的地の嘉義駅へ向かいました。車窓からの景観は、潤い豊かな熱帯・亜熱帯の緑と素朴な南国風情、古くは「麗しの国」と称された台湾の息吹を感じました。嘉義駅で、陳仁徳さん等に出迎えられ、市内のホテルで、会員や会員の家族十数人と昼食を共にしました。午後は、映画「KANO」(嘉農)を鑑賞しました。映画「KANO」は、1931年の夏の甲子園で開催された高校野球第17回大会で、台湾代表の「嘉義農林」が準優勝したことを題材に、準優勝するまでの民族差別や偏見との克服、チームと市民との絆と友情等、感動的な映画でした。夜6時より「創立35周年式典」が「耐斯王子ホテル」で開催

されました。近隣のRCの会員や来賓を含めて出席者は400名と聞かされ、会場の大ホールは参加者で満ち、熱気が溢れていました。嘉義南RC会員達の体全体で歓迎する姿は、いわゆる台湾版「おもてなし」の真髄を体験したような雰囲気でした。

3日目(27日)は、ホテルから高鉄嘉義駅まで、車で送っていただき、高鉄(台湾新幹線)嘉義駅で、嘉義南RCの方々とお別れしました。嘉義南RCからは、大変な歓迎を受けた訪問でした。

「嘉義」の地名の由来 嘉義市の旧称は諸羅山(山が連なるの意)であったが、1787～1788年に起きた清代最大の反乱(林爽文の乱)の際、諸羅山の民は反乱者たちから町を守り抜いた。乱の平定後、清朝の乾隆帝は、その功績を称え、諸羅山の地名を「民の忠義(義)を称賛(嘉)する」という「嘉義」に改称した。嘉義という地名は皇帝から賜った由緒ある地名です。

「嘉義市」について 人口27万人で、2007年に新幹線が開通し、2015年には、国立故宫博物院南部分院が開館する予定。国が推し進めている観光事業の一つ阿里山観光の出発点でもあり、益々発展が期待される都市です。

## 会員卓話

### 会報・広報について

志波 克 会報・広報委員長



今日は例会が充実して、私の予定持ち時間が30分から6分に変更されましたので、本論は省きまして、時間調整用に用意したお話をします。

石黒圭著「日本語てにをはルール」に書かれていることです。

#### ①主語と述語の対応のずれ

これは、会報の原稿でもごく希にあります。

例1:この電車の止まる駅は、上総湊、佐貫町、大

貫に止まります。

正しくは、「この電車の止まる駅は、上総湊、佐貫町、大貫です。」または、「この電車は、上総湊、佐貫町、大貫に止まります。」

例2: 次のニュースはパンダの赤ちゃんが生まれました。

次はパンダの赤ちゃんが生まれたニュースです。又は、次のニュースはパンダの赤ちゃん誕生についてです。

話していると、あまり違和感も無く聞き過ごすことが多いですが、読むと“あれ”と思いますので、お気を付け下さい。

同じようにずれていても、日本語として正常な文もあります。「うなぎ文」とか「こんにやく文」と呼ばれる文です。

うなぎ文

例1: 食堂に入り、一人が「カツ丼をお願いします。」という、もう一人が、「じゃあ、僕はうなぎだ」。

「僕＝うなぎ」の意味にも取れる。

例2: 彼女が好きなのは猫です。でも、僕は犬です。

「僕＝犬」の意味にも取れる。

こんにやく文

例1: 肉は食べ過ぎると太るけど、こんにやくは太らない。こんにやくが太るわけではない。

例2: この薬は、よく眠れますよ。

例3: このクラブは、よく飛びます。

うなぎ文、こんにやく文は日本語としては自然で直す必要は無いが、主語と述語の対応がずれていることは自覚しておいた方が良いでしょう。

## ②語順と「読みやすさ」の法則

基本的語順は、「時」、「場所」、「主格」、「相手」、「対象」、「述語」です。

残念ながら時間ですので、又機会がありましたら例文等を交えて、受け売り話をします。

## ニコニコBOX

平野 安照 親睦担当委員

\*石渡・原田・若鍋 無事訪台を終えて帰国して

\*渡辺 務 誕生祝いを頂いて

\*小野 恒靖 結婚祝いを頂いて

\*原田 雅式 //

\*千葉 一利 壮行会に欠席してすみません

\*平野 安照 //

高橋 裕之 原田会員に、人を紹介してもらい

\* > 1,000円 合計 17,000円

## 出席報告

白石 幸久 出席担当部長

区分	会員数	出席	欠席	MakeUp	出席率
今回	21/18	15	4	0	83.33%
前回	21/20	17	3	0	85.00%

近隣クラブ例会日 (通常 12:30 点鐘)

月	君津、袖ヶ浦(特別 最終例会は夜間)
火	富津(特別 18:30 10~3月 18:00)
水	木更津東(特 18:30)、富津シティ(特 19:00)
木	上総、木更津

君津 RC ホテル千成 0439-52-8511

袖ヶ浦 RC レストラン菜心味袖ヶ浦店 0438-60-1753

富津 RC 宮島本店 0439-67-1178

木更津東 RC ロイヤルビルズ 木更津ビューホテル 0438-23-0211

富津シティ RC 新日鐵住金富津クラブ 0439-80-2525

上総 RC 割烹旅館 山徳 0439-27-2003

木更津 RC 東京ベイプラザホテル 0438-25-8888

## 理事会報告

今月のスケジュールについて

4/10 会員卓話 刈込 例会後花見

4/17 会員卓話 大網、三井

4/24 会員卓話 平川 家庭集会報告

4/29 協議会 幕張

5/1 次期会長方針発表